

特別企画

建物外壁の健全性を持続させる 補修改修工法

補修改修市場は前年度水準を上回り、堅調に推移している。その背景には既存建物を健全な状態で長寿命化させることで資産価値を維持し、少しでも長く活用したいという顧客のニーズ。また、環境配慮や持続可能型社会の実現といった社会的なニーズの高まりがある。そんな中、既存建物を維持保全していく補修改修工事が注目されている。

本稿では、建物を長く維持保全していくために必要な定期的な検査と維持補修の意義、施工の重要性について識者に話を伺うほか、メーカー推奨工法を紹介することで今後の展望を探っていく。 (編集部)

インタビュー

作業者と技術者不足を解消する機械化・……………12 自動化の動きは加速していく

株式会社フジタ 技術センター 建築研究部 添田 智美 さんに聞く

製品レポート

美観を損なうことなく外壁タイルの浮き個所を……………16 確実に施工する部分補修工法

タイルフィックス工業会 会長 中坂 勇二
同 技術委員会委員長 岩井 宗一

